

# 平新報

發行所 山形野邊庄吉  
編輯 山形野邊庄吉  
印刷 山形野邊庄吉  
電話 五五五  
定額金拾圓

## 郷土を把持する苦悶 平市制の直前に與ふ

諸施設実行案の卑近數例

勿來生

維新直後、磐前、若松、じて郷土文化建設の崇尙を  
福島三縣を合併して福島純なる念より立論されて、  
縣と更稱して以來、早くも既に之をして整然山積して  
市制を實行せる所は、舊者たる予の如き當事外れ  
松、福島二縣に限られ、の私見は何等の價値なき  
以上に反して、面積、地勢、語釋に説法の陳腐、發  
氣、人口、經濟共に優越するに等しきを自覺する  
せる大縣の磐前たりしにも、苟くも予の専門史研  
究ならず、獨り市制未設の究以外、常に世界には世界  
のものは、其の跡なる即ち吾の文明史あり、世界の通信  
人郷土の現代警城七郡ではあり、而して本邦郷土、都  
府の史誌あり、圖説、統計  
是れに於いてか、當時、等がある爲、毎度之を覽  
奥羽關門の要縣たる右は、考へ、果ては之を以て予の  
前の二者に比べて甚だ遲滯郷土中心の平に遠く走せ、  
拙述の憾みなきと雖も、吾のち此れが文物のより良き  
入は該縣應の舊所在地であらざるを直ちに平に寄せ、之  
る、平町に、市制を宿望、を移して斯く爲さしめたく  
企圖すること數年に及び、の謂はゆる郷土愛の精神に  
近く其の期に達せんとして、彷徨すること度々である。  
ゐるのは、國家并に郷土の、本正月、歸省七十九歳の  
爲、洵に慶祝に堪へない。老母を問安して、三日出平  
然りとすも之が研究、半年より今や市制實現へ  
懸案に對しては、幾多の町、隆々たる街、欣々たる  
民諸君、分けては賢明なる入聲に接して、一層斯の感  
議員諸氏に依つて、孰れもを切求した、そして予が少  
熾烈な意見と主張を有せらるる時代よりの絶對な標語な  
るは無論、現在平町長以る彼の「文明は郷土より」  
ト各吏員に至つても、個々を口占みながら、三藝文庫  
別々の針案が提供され、總に職俵の後、孤り旅宿に

入り、其の夜徒然のま、  
思付を略述して、將に生  
れ出づる平市黎明の山野に  
投ずるものは、次の二天條  
々である。  
但し各項の括弧内に細別  
せるは、其主要假名の内部  
に併置する種類、或は附屬  
關係を提示するものに外な  
らぬ。猶全國各都市の之が  
類例の原案あらば、予の大  
ざつばな該意見と披排、校  
勘されむことを希む。

(一) 企劃、建設  
配置、標識  
一 都市計畫研究所 (諸施設  
の調査、設計、研究)  
一 市民會館 (公民自治本義  
研究會、市政に對する市  
民振奮會、雄辯會、柔劍  
道場、民衆簡易食堂)  
一 圖書館 (郷土學術研究會  
郷土文獻展覽會、偉人孝  
子節婦顯表會)  
一 商工會議所 (郷土物産陳  
列所、郷土物産販賣、輸  
出所、郷土食料統制會、  
名勝紹介部)  
一 私營新聞社、街頭新聞點  
付板 (但し普通新聞大版  
のカナ附)  
一 運動場、プール、運動諸  
器械裝置。  
一 史蹟、名勝、天然記念物  
名家の修理、保存、標示  
紹介。

(二) 人事行政へ  
の一箴言  
一 市長は議員中より選舉す  
るか、否らざれば、市民  
中、學識并に徳望併有の  
者を衆選すべし。(輸入  
市長は良からず)  
一 吏員は概して専門的素養  
のある者、又は大學、專  
門、中等學校出に限るべ  
し(老給者、縁故關係者  
恩給取扱は免れて非庸か)  
一 市政諮問の機關には、議  
員、吏員の外に、學者、  
專門家、經驗家を網羅。  
一 方面委員、職業紹介所員  
免因保護關係等には、概し  
て人格、識見の具有せる  
者を任すべし。(神官、  
僧侶、教師等より殊に徳  
望ある者を選ぶこと)  
一 市長、議員の豫選は、勉  
めて市民自身が協力して、  
行ふに限る。(是の方法  
は市民大會、市民振奮會  
等にて決せよ)  
一 成るべく女子の吏員採用  
を避くること。  
一 (猶人事行政に就いては  
徹底せる見解あれど、今  
此には遠慮して省く)  
最後に予は左の三項を、是  
の前後の途上に與へて讀者  
の賛否を待たたい。

磐中同窓會  
新年宴  
三日午後七時  
於住吉屋本店  
恒例により磐中同窓新年懇  
親會は三日午後七時より、  
住吉屋本店に開催されたが  
その模様と出席者左の如く  
◆ 關内會長の開辭 ◆ 小樽  
山校長の挨拶 ◆ 大連同窓  
よりの來信披露 (會長)  
(順不同)  
小野園次郎、蛭田利光、  
原精一、堀喜一、吉田金  
作、齋藤榮一、山崎宣吉  
千葉右近、近藤廣記、小  
樽山久作、廣田徳行、井  
上貞次郎、新田目春松、  
市井茂、石坂一雄、志賀  
定平、諸橋鐵彌、酒井國  
三郎、佐藤作平、松本健  
中村政、山部正勇、加藤  
丈夫、中野勇雄、渡邊正  
彦、菅波國尚、江尻功造  
桐谷邦男、齋谷兵衛、柏  
木淳、關内正一、山崎忠  
三郎、關内正一、山崎忠  
兵衛、上田耕作、松本榮  
一、松井深、野崎喜八郎  
山田盤廣、山野邊庄吉

乃至火葬所)  
一 農海産學校 (男女共學に  
てもよし、開墾、家畜、  
栽培、海外、拓殖、海産  
各科、并に食料品、加工  
販賣工場を併置)  
一 方面事務所 (貧民救濟會  
授職部、義捐應募所、無  
料食券所)  
一 市營住宅、無料宿泊所。  
一 市營金融、質屋。  
一 狹隘路の整理廢合、市區  
改正。  
一 墓地、空地の統制。  
一 神社、佛閣、教會の保護  
并に統一。  
一 舊本丸の公園化 (丹後澤  
以南)  
一 臨海、炭礦地への交通利  
便統制。  
一 デパート及び娯樂場を一  
區に集合、  
一 カフェ、喫茶店、料理  
店、藝妓及び娯樂屋を一  
町に置くを可とすべし。  
一 共同便所、塵芥置場等の  
増設。  
一 職業紹介所を擴充、  
一 公衆飲料水を配置せよ、  
一 街路樹を移植し、道路掃  
除を計ること。  
一 乞食、癩患者、浮浪人等  
の保護及び統一。  
一 私營新聞社、街頭新聞點  
付板 (但し普通新聞大版  
のカナ附)  
一 運動場、プール、運動諸  
器械裝置。  
一 史蹟、名勝、天然記念物  
名家の修理、保存、標示  
紹介。

化的發達、推移の干係上  
りせば、「磐城」を冠稱  
するが、必然、妥當な  
ること、歴史的に明證せ  
らるるに據る)  
市紋章、市歌、市史、市制  
記念碑及び同記念日(祭  
等の制定、編纂、建立。  
(當夜十二時半に垂んと  
して、客窓に磐城の木枯  
を聴く)

謹賀新年  
橋本文壽  
高田市南城町一ノ三三ノ二

箱崎清一  
小坂嶺山事務所  
秋田縣鹿角郡小坂町

緑川徳之助  
神戸市灘區舟通二ノ五七

藤沼醫院  
内科、小兒科  
平町紺屋町 電話五〇七番

吸入用酸素純度99%  
体温器  
寒暖計

關内藥局  
電話四〇番

高久病院  
院長 高久忠  
副院長 高久清  
藥局長 佐竹菊雄

### 賀狀感

あきら生

年々歳々人同しけれども年  
同じからずで丙子歳且早々つや増せる若葉明くから松  
私の所へ来た多数の内にはの林はつゞく汽車の窓邊に  
子の歳に關する鼠のいろいろ  
宇津峯に登る  
ると思をこらしたるものにここにしてはやはならけん  
本多朝忠、高瀬勝男、猪たなはる磐城山原はるに  
狩登三男、(以下細)  
右の三氏に面白く感じられ  
た。

それから年賀狀に夫々の和入齋を祝すの旗がわが家に  
歌なり、俳句とか、川柳の今年はたてり肩の廣さよ  
やうなもの、書き添へられ  
たるものを次ぎに書いて見  
ませう。

勅題 海上雲遠  
みどりにも海原はれてくも  
の影あるかなきかにいと遙  
なる。

須賀川 矢部 椿郎  
遠山の雲はうこかて鏡なす  
海面青くいるかよふみゆ。  
七十一歳の新年を迎へて  
七そしに幾を添へむ春秋非  
にさまでとみたる我にはあ  
らねど。

高久 晚霞  
詩人土井晩翠先生の來平に  
寛ろぎてのらすわれ等がう  
た人の東北訛りもそゝろ親  
しき。

白水阿彌陀堂にて  
たくみらの高きのみ香わ  
か郷に遺るといふは尊とき  
ものを。(以下略)

平瀧町 佐川滿壽莊  
海上雲遠  
せん泉海あやしき雲は沖遠  
くふき飛すらん肅正の風。  
初風や沖に柳引うろこ雲。  
三春町 天野多津雄

### 音信交換

磐中同窓會長殿  
在大連  
關東州警中會  
遙嶽母校之隆昌  
木村 六 郎

### 響中短信

吉田教諭出張  
地理科擔當の吉田泰雄教諭  
は、地理實地研究のため、  
東京府、群馬、山梨、長野  
静岡方面へ去る十八日出張

### 満鉄新報

本年度卒業生の中  
滿鐵社員に四名  
過般の滿鐵新社員採用に二十三日頃歸着の豫定であ  
される事に決定した。

柔剣道寒稽古  
去る十三日より二十二日  
迄の十日間同校道場にて寒  
稽古をしたが、出席人員委  
道部は二六四名、剣道部は  
二六一名で成績は大變によ  
く、二十九日納會との事であ  
る。

衆議院解散  
第三區有権者は  
七八、九九九人  
今回、前回  
郡別 岡七、四、五、  
石城 四、七、  
双葉 三、三、  
相馬 三、八、

舊正月二日  
景品初大賣出し  
今年は十五丁目の店で  
皆様を御待ちして居ります  
便利な商品券  
御電話下さればすぐ  
御届け申上げます  
平十五丁目  
榮松本呉服店  
電話四五八番

舊正月  
二日(新一月二十五日)  
景品付  
吉初大賣出  
例吉  
豐表大安賣  
平四丁目  
伊勢屋商店  
電話四十五番

久 釜屋の初賣!

●舊正月二日午前二時より午後五時迄

混雑中  
時間と  
御手数  
を省く

商品券

金拾圓 何卒  
金貳拾圓  
金參拾圓  
金五拾圓  
金壹百圓

御利用下さい

奮勵努力の

久 釜屋商店

電話 九四九番